

# 広島ドラゴンフライズと連携協定



9月30日、広島ドラゴンフライズと竹原市は、それぞれが有する資源を活用し、地域活性化を図るとともに、双方の発展につなげることを目的として連携協定を締結しました。

今後、両者で連携しながら、広島ドラゴンフライズが掲げるクラブ理念と本市が目指す将来都市像「元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向けた取組を実施していきます。

▲(左から) 広島ドラゴンフライズマスコットキャラクター『モヒカンアビ』、  
広島ドラゴンフライズ 浦 伸嘉代表取締役社長、竹原市長 今榮 敏彦、竹原市教育長 高田 英弘

## 「竹原を盛り上げ、人々を笑顔に、そして元気にしていきたい。」

竹原市の前を向く想いに、広島ドラゴンフライズが応えてくれました。



## 連携項目

- 子供の健全育成に関すること
- スポーツ振興に関すること
- プロモーションに関すること
- 地域活性化に関すること

その他相互に連携協力することが必要と認められる事項に関すること



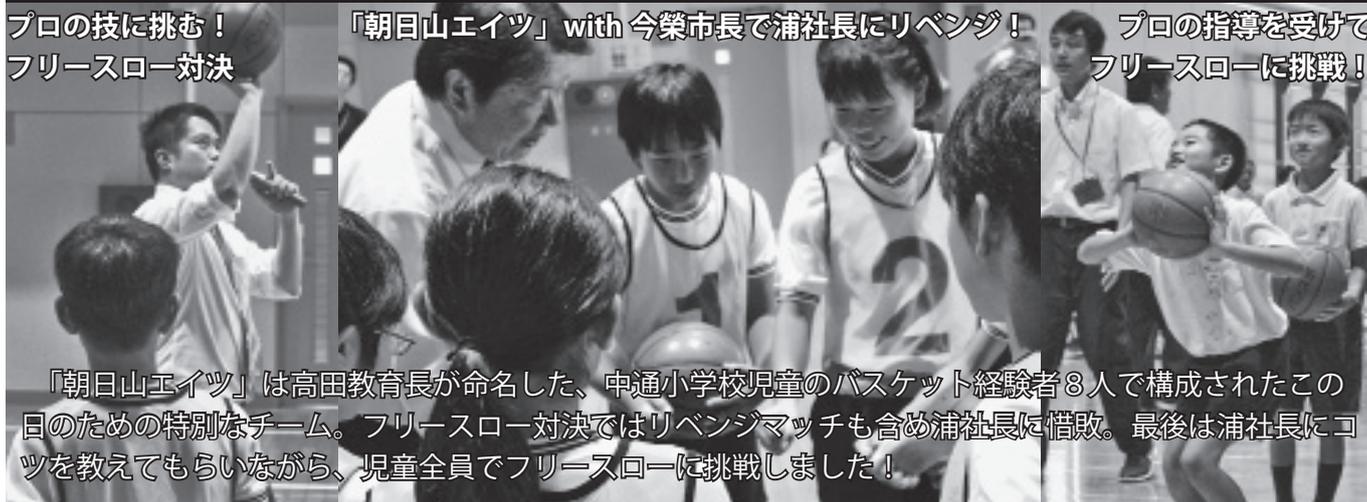
広島ドラゴンフライズは、平成25年に創設された、広島県唯一のプロバスケットチームです。その名の由来は、前に飛んで決して後ろに下がらない勇猛果敢な「勝ち虫」のトンボを英語表記にしたもの。宮島の鳥居をイメージした「朱色」のメインカラーに、瀬戸内の海をイメージしたサブカラーの「青色」が鮮やかに映えるチームカラーが特徴です。

## 締結後、プロの技に盛り上がる子どもたち。そしてフリースロー対決の行方は…！？

プロの技に挑む！  
フリースロー対決

「朝日山エイツ」with 今榮市長で浦社長にリベンジ！

プロの指導を受けて  
フリースローに挑戦！



「朝日山エイツ」は高田教育長が命名した、中通小学校児童のバスケット経験者8人で構成されたこの日のための特別なチーム。フリースロー対決ではリベンジマッチも含め浦社長に惜敗。最後は浦社長にコツを教えてもらいながら、児童全員でフリースローに挑戦しました！